

● 発注者のビジネス速度 と 印刷業務プロセスのスピードとの間にズレが目立つようになってきた

(または+アルファして)

●印刷物を通じた情報伝達を、顧客の要望を忠実に実現させるところにその事業基盤を持つ「印刷サービスの印刷データ作成分野」は、

カッターと糊による切り貼りを ⇒ 【コピー&ペースト】 に
 棚を活用したデータ保管を ⇒ 【電子媒体への保管】 に

転換するところまで到達した。

また、入稿形態がデータ入稿に変化したことに対しては【異なるアプリケーションソフト間のコピー&ペースト】で対応してきた。

●印刷データ作成プロセスの自動化については、やっと端緒についた段階



【発注者側のビジネス速度の高速化】に対する
【印刷データ生成工程(=印刷物製造において最も時間を消費する工程だ)】
の運用スピードの相対的な低下が認められる。